

(本件に関する照会先)

日本銀行高松支店 総務課 087-825-1102

2020年12月14日

日本銀行高松支店

香川県金融経済概況

1. 概況

- 香川県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から、一部に弱い動きがみられているが、全体としては持ち直しに向かいつつある。

すなわち、設備投資は減少している。個人消費は持ち直しの動きがみられている。住宅投資は減少している。この間、公共投資は高水準となっている。こうした中、企業の生産は下げ止まっている。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。この間、企業の業況感は、改善している。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、減少している。

12月短観における設備投資（全産業）をみると、2020年度は、前年を下回る計画となっている。

個人消費は、持ち直しの動きがみられている。

大型小売店の売上は、持ち直しの動きがみられている。

乗用車販売は、持ち直しの動きがみられている。

家電販売は、増勢が鈍化している。

主要観光地の入込客数（8～10月）は、低水準ながら、持ち直しの動きが続いた。

住宅投資は、減少している。

公共投資は、高水準となっている。

- 企業の生産は、下げ止まっている。

化学は、振れを伴いつつも、高めの水準で推移している。非鉄金属は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。金属製品、窯業・土石は、横ばい圏内の動きとなっている。輸送機械、汎用・生産用機械、電気機械は、下げ止まっている。食料品は、一部で弱めの動きとなっている。プラスチック製品は、減少している。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。
- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、1%程度のマイナスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（10月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。

貸出約定平均金利は、前月比低下した（県内国内銀行ベース、10月末0.864%〈前月末0.867%〉）。

- 預金（10月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。
- 倒産および信用保証協会の代位弁済（11月）は、低水準となっている。

以 上